

令和7年度 大田市立温泉津小学校 グランドデザイン

しまね教育振興ビジョン

- (1) すべての子どもが学びの主人公
- (2) 実体験に根ざした本物の教育
- (3) 挑戦心、探究心が育つ学びの環境

【教育目標】

学びを楽しみ、つながり合い、たくましく伸びる子どもの育成
～地域素材の魅力を学びに活かす学校づくり～

【今年度の重点】

自らの伝える力、チャレンジする力を高めていく子どもの育成

大田市教育ビジョン

『わが里を誇り、大田と世界の未来を拓く』

- (1) 生き抜く力を育てる
- (2) 「あるもの」を活かす
- (3) 地域を支え、創る

めざす学校の姿

- 子どもたちの学び合う声が響き、明日も行きたくなる楽しい学校
- 職員がよさや強みを生かし、やりがいを感じる学校
- 地域の特性を活かし、地域とつながる学校

めざす児童の姿

考えることを楽しむ子ども

- ・ICT等を活用し、主体的に学びに向かう(個別最適な学び)
- ・学んだことを活かして探究する(課題解決的な学び)
- ・自分の考えを自分の言葉で説明・表現する(協働的な学び)

仲間とつながり合う子ども

- ・あいさつや声がけができる(コミュニケーション力)
- ・うまく折り合いをつけて、協力し合える(自己調整・課題解決力)
- ・よく考えて判断し、よりよい行動ができる(道徳性・メタ認知)

たくましい子ども

- ・決めたことを最後までやりきる(自己肯定感・自尊感情)
- ・進んで体を動かす(体の調整力と体力の向上)
- ・危険を予測し、安全な生活をおくる(想像・判断・実行)

めざす職員の姿

- 子どもの人格を尊重し、子ども理解に努める職員
- 情報共有に努め、組織の一員として協働する職員
- 教職に携わる者としての自覚と使命感をもち、研究と修養に自ら励む職員

確かな学力

- ①基礎学力の定着
- ②系統性を踏まえた能力ベースの授業づくり(授業力向上)
- ③ICTの積極的活用
- ④学校図書館の活用(情報活用力、読解力)
- ⑤自ら学ぶ家庭学習(テーマ学習などの工夫)
- ⑥伝え方や発信する場の工夫

豊かな人間性・社会性

- ①互いに支え合う自立した集団づくり
- ②いじめや差別を許さない、隠れたカリキュラムに支えられた学級経営
- ③自他を尊重する人権意識の向上
- ④多文化共生の視点に立った人権教育
- ⑤地域の素材を活用した体験活動の重視
- ⑥道徳的実践力とコミュニケーション力の育成

健康な心と体

- ①基本的な生活習慣の定着
- ②自分のよさや可能性の認識
- ③粘り強く取り組む力、挑戦力の向上
- ④体力や体の調整力を向上させる取組の実施
- ⑤安全意識や防災意識の向上

4つの柱

職員の連携と協力

- ①笑顔と感謝を大切に明るくつながる職場
- ②よさや持ち味の発揮と協働体制の向上
- ③報告・連絡・相談と情報共有
- ④OJTによる人材育成
- ⑤子どもと向き合う時間の確保

学校教育

活用

地域の豊かな教育資源や素材
ひと・もの・こと
(体験活動の場の提供)

信頼

つながり

協力

家庭・保護者
(PTA活動の充実)

信頼

地域が望む育てたい子どもの姿

- ◎誰にでもあいさつができる子ども
- ◎思いやりがあり、よい人間関係をつくり合える子ども
- ◎地域の伝統・文化を大切にし、温泉津が好きな子ども
- ◎失敗から学べる、元気いっぱいの子